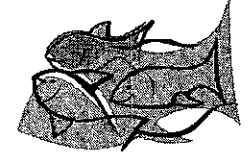


憲法をいかに、いのちとくらしを守る平和な社会を！

2014国際女性デー第54回宮城県集會

講演

# 放射能汚染と水産物への影響



講師

かたやま・さとし  
**片山 知史**さん  
(東北大学農学研究科教授)

—放射能汚染問題にどう向き合うか—

とき / 2014年3月8日(土)

18:30~20:30

ところ / エル・パーク仙台5階

セミナーホール (三越仙台店 定禅寺通側)

参加費 / 500円

## 講師プロフィール

1966年東京生まれ。東北大学農学部卒 同助手、水研センター中央水産総合研究・主任研究員、室長を経て2011年4月より現職。専門：沿岸資源学沿岸資源生物の生態および生息環境の特性を明らかにしながら、資源が変動するメカニズムの解明と資源管理理論の構築に取り組んでいる。



## 著書

「地球温暖化とさかな (分担執筆)」(成山堂書店)  
「浅海域の生態系サービス (分担執筆)」(恒星社厚生閣) 他。

東京電力福島第一原発事故直後、海洋生物のあらゆる種類で基準値を超えていた放射性物質は、現在海底にいる底魚の一部を除くと減少傾向にあるといわれます。しかし、海域への流入が続く汚染地下水の挙動も全く把握されておらず、魚と水産物への影響の長期化は避けられない状況です。

今、「安全」とされている水産食品を「安心」して食べられるのでしょうか。水産物の安全管理はどうなっているのでしょうか。

「安全」と「安心」のギャップと、今後の放射能問題などをお話していただきます。

国際女性デーとは、1910年、ニューヨークの女性たちが「パンよこせ」「女性にも参政権を」と立ち上がった行動を記念して、3月8日を女性の平等で完全な政治的権利、平和のための国際的なたたかいの日と決めました。国連は1975年(国際婦人年)にこの日を「国際婦人デー」と決めました。日本では1923年に第1回が弾圧のなかで持たれ、今に歴史を引き継いでいます。(2014.1)

主催 / 国際女性デー宮城県集會実行委員会 仙台市青葉区五橋1-5-13-3F 新日本婦人の会宮城県本部 気付 TEL022-262-5101